【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公開番号】特開2014-85531(P2014-85531A)
【公開日】平成26年5月12日(2014.5.12)
【年通号数】公開・登録公報2014-024
【出願番号】特願2012-234714(P2012-234714)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　3/08　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　3/00　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　59/04　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　33/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　3/08
Ｇ０２Ｂ　3/00　Ｚ
Ｂ２９Ｃ　59/04　Ｃ
Ｂ２９Ｃ　33/38

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月29日(2014.5.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
レンズ面が一方向に配列されたリニアフレネルレンズシートであって、
当該リニアフレネルレンズシートのシート面への法線方向に関して互いに同一の側に傾斜している複数の第１レンズ面を含む第１レンズ面群と、
当該リニアフレネルレンズシートのシート面への法線方向に関して前記第１レンズ面とは逆の側に傾斜している複数の第２レンズ面を含む第２レンズ面群と、
前記一方向において前記第１レンズ面群と前記第２レンズ面群との間に設けられ、当該リニアフレネルレンズシートのシート面に沿って延びる複数の平坦面を含む平坦部と、
を備え、
前記第１レンズ面群のうち、より前記一方向の前記平坦部とは反対の側に配列された前記第１レンズ面の方が、前記シート面に対する傾斜角度が大きくなるようになっており、
前記第２レンズ面群のうち、より前記一方向の前記平坦部とは反対の側に配列された前記第２レンズ面の方が、前記シート面に対する傾斜角度が大きくなるようになっている、
リニアフレネルレンズシート。
【請求項２】
前記複数の平坦面は、前記シート面に沿った長さが一定である、請求項１に記載のリニアフレネルレンズシート。
【請求項３】
前記平坦部は、前記法線方向において互いに異なる位置に配置された複数の平坦面を含んでいる、請求項１または２に記載のリニアフレネルレンズシート。
【請求項４】
前記複数の平坦面は、複数の第１平坦面からなる第１平坦面群と、当該第１平坦面群と前記第２レンズ面群との間に位置し、複数の第２平坦面からなる第２平坦面群と、を含み

、
前記第１平坦面群のうち、より前記一方向の前記第１レンズ面群の側に配列された前記第１平坦面の方が、前記法線方向において外方に位置するようになっており、
前記第２平坦面群のうち、より前記一方向の前記第２レンズ面群に配列された前記第２平坦面の方が、前記法線方向において外方に位置するようになっている、請求項２または３に記載のリニアフレネルレンズシート。
【請求項５】
前記一方向に沿って最も前記平坦部側にある前記第１レンズ面群の前記第１レンズ面について、前記シート面に対する傾斜角度が、小数点以下第３位を四捨五入して０．０１度以上であり、
前記一方向に沿って最も前記平坦部側にある前記第２レンズ面群の前記第２レンズ面について、前記シート面に対する傾斜角度が、小数点以下第３位を四捨五入して０．０１度以上である、請求項１乃至４のいずれかに記載のリニアフレネルレンズシート。
【請求項６】
リニアフレネルレンズシートを製造するために用いられ、レンズ面を作製するための傾斜面がその軸線方向に配列されているロール状の型であって、
前記軸線方向に配列された複数の第１環状溝を含み、各第１環状溝が第１傾斜面を画成する、第１環状溝群と、
前記軸線方向に配列された複数の第２環状溝を含み、各第２環状溝が第２傾斜面を画成する、第２環状溝群と、
前記第１環状溝群と前記第２環状溝群との間に配置された中間部と、を備え、
前記第１環状溝群に含まれる複数の第１傾斜面は、軸線を通る断面において、当該軸線方向と直交する半径方向に関して互いに同一の側に傾斜し、
前記第２環状溝群に含まれる複数の第２傾斜面は、前記軸線を通る断面において、当該軸線方向と直交する半径方向に関して前記第１傾斜面とは逆の側に傾斜し、
前記第１環状溝群のうち、より軸線方向の前記中間部とは反対の側に配列された前記第１環状溝の前記第１傾斜面の方が、前記軸線方向に対する傾斜角度が大きくなるようになっており、
前記第２環状溝群のうち、より軸線方向の前記中間部とは反対の側に配列された前記第２環状溝の前記第２傾斜面の方が、前記軸線方向に対する傾斜角度が大きくなるようになっており、
前記中間部は、円筒面を画成する平坦円筒部を複数含む、
リニアフレネルレンズシートを製造するためのロール状の型。
【請求項７】
前記複数の平坦円筒部は、前記軸線方向に沿った長さが互いに等しい、請求項６に記載のリニアフレネルレンズシートを製造するためのロール状の型。
【請求項８】
前記中間部は、前記半径方向において互いに異なる位置に円筒面を画成する複数の平坦円筒部を含んでいる、請求項６または７に記載のリニアフレネルレンズシートを製造するためのロール状の型。
【請求項９】
前記中間部は、複数の第１平坦円筒部を含む第１平坦円筒部群と、当該第１平坦部群と前記第２環状溝群との間に位置し、複数の第２平坦円筒部を含む第２平坦円筒部群と、を含み、
前記第１平坦円筒部群のうち、より前記軸線方向の前記第１環状溝群の側に配置された前記第１平坦円筒部の方が、直径が小さい円筒面を画成するようになっており、
前記第２平坦円筒部群のうち、より軸線方向の前記第２環状溝群の側に配置された前記第２平坦円筒部の方が、直径が小さい円筒面を画成するようになっている、請求項６または７に記載のリニアフレネルレンズシートを製造するためのロール状の型。